

コロンビア（2023 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在コロンビア日本国大使館](#)

- 2021 年度日本語教育機関調査結果
- 日本語教育の実施状況
- 教育制度と外国語教育
- 学習環境
- 教師
- 教師会
- 日本語教師派遣情報
- 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20	85	2,024	0	0.0%	0	0.0%	436	21.5%	1,588	78.5%

（注）2021 年度日本語教育機関調査は、2021 年 9 月～2022 年 6 月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

日系人子弟への日本語教育の必要性から、1968 年、カリ市郊外の農場の片隅に「ひかり園」が設置され、日本語を教え始めたのがコロンビアにおける日本語教育の始まりと言われている。以後、日系人協会がこれを引き継ぎ、「コロンビア日系人協会附属日本語学校」、現在の「コロンビア日系人協会附属日本語学校日本語センター『光園』」と名称変更し、日系人のみならずコロンビア人学習者も対象に日本語教育が行われている。同機関はコロンビアの日本語教育機関の中心的な存在として日本語弁論大会や日本語教師研修会を積極的に企画し、日本語教育の普及に尽力している。2017 年 9 月には、カリ市南部の日本語学習希望者数の増加により、『光園』南部校が開校された。

高等教育機関では、1987 年に初めて国立コロンビア大学で JICA（国際協力機構）海外協力隊派遣プログラムによる日本語講座が開講された（1996 年より卒業履修科目として認定）。

全体的に各日本語教育機関は教師、教材及び予算の不足などの問題を抱えている。

教師研修としては、年 1 回日本語教師合同研究会（2017 年は 10 月に日系人協会附属日本語学校にて実施）が実施され、教師間のネットワーク作り及び教師の質の向上に貢献している。この研究会には、JF サンパウロ日本文化センターより日本語上級専門家が派遣され指導を行っている。また、最近では 2004 年、2010 年及び 2015 年に国際交流基金日本語巡回セミナーが開催された。

2015 年には『コロンビア全国日本語教師会・日本語研究会』が結成され、日本語教師が一同に集まり、情報を交換、日本語教育についての勉強を重ね、日本語教育の質の向上に努めている。

2009 年より、ボゴタ市のロスアンデス大学において日本語能力試験が実施、2014 年 3 月から同大学で全国日本語弁論大会も開催され、日本語学習者の大きな励みとなっている。

背景

20 世紀初頭からの日系人移民が存在するが、コロンビアでの外国語教育としては英語が重視され、日本語教育については言語教育政策に取り入れられていない。

特徴

コロンビア国民は親日的で、日本に対しては良好なイメージを持っている。日本の高度な科学技術やアニメ・マンガ、武道、文学をはじめとする日本文化に対する関心が学習動機となっている傾向が強い。近年では、日本政府の国費留学の受験生に日本語試験を課しているので受験を目的に学習する者が増加してきている。日本語学習者の大半は初級・中級レベルであり、上級レベルまで学習を継続する者は少ない。日本の奨学制度や大学間のつながりなどでの交換留学をする大学の増加により、日本語学習への関心へとつながってきている。中国語、韓国語に対する関心も高まってきており、日本独自の魅力の発信と日本文化、日本事情などの知識の取得などをいかにやっていくかが今後の課題となっている。

最新動向

2021 年 12 月、メデジン市の日本語教育における中核機関であるエアフィット大学の日本語コースが閉講した。2022 年 2 月、メデジン市で日本文化センター「春のひなた」が開所し、日本語教育及び日本文化講座が提供されている。2022 年 12 月、カリ市「光園」で日本語能力試験が開始し、コロンビアではボゴタ市とカリ市の年 2 回実施となった。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

卒業履修単位科目として認定され、正規科目として日本語教育が行われている高等教育機関は次の 13 機関。13 機関とも教養課程の選択科目となっており、日本語・日本語教育専攻／副専攻はない。

1. ロスアンデス大学（1989 年開講、ボゴタ市）

- 日本語コースは社会科学部言語文化学科に所属。1998 年より履修単位科目。経済学部、理学部、人文学部の学生が多い。
- 一般公開講座も実施している。
- 2018 年より「日本センター」にて一般公開講座を開設
- 2. コロンビア国立大学ボゴタ校（1987 年開講、2010 年閉講、2012 再開、ボゴタ市）
- 3. バジェ大学（1994 年開講、カリ市）
 - 日本語教育は人文学部言語学科に所属。1997 年より履修単位科目。理学部、人文学部の学生が多い。
 - 一般公開講座も実施している。
- 4. エクステルナド大学（1998 年開講、ボゴタ市）
 - 日本語教育は国際関係・国際金融学部 に所属。同学部、人文学部の学生が多い。
- 5. コロンビア国立大学メデジン校（2002 年開講、2007 年一時閉講、2011 再開、メデジン市）
- 6. ロサリオ大学（2004 年開講、ボゴタ市）
- 7. ハベリアナ大学ボゴタ校（2005 年再開、ボゴタ市）
 - 一般公開講座も実施している。
- 8. ハベリアナ大学カリ校（2012 年再開、カリ市）
- 9. クン技術短期大学ボゴタ校（言語センター）（1993 年開講、ボゴタ市）
- 10. アンティオキア大学（2000 年開講、2006 年休講、2012 年再開、メデジン市）
- 11. カルダス大学（2012 年開講、マニサレス市）
- 12. エル・ボスケ大学（2017 年開講、ボゴタ市）
- 13. アトランティコ大学（バランキージャ市）

* 現在休講中の高等教育機関は以下の 16 機関。

- 1. サンタンデル大学（1990 年開講、1999 年より休講、ブカラマンガ市）
- 2. エアフィット大学（1992 年開講、2021 年より休講、メデジン市）
- 3. ジャノ大学（1998 年開講、2000 年より休講、ビジャビセンシオ市）
- 4. イバゲ大学（1999 年開講、2000 年より休講、イバゲ市）
- 5. パンプローナ大学（1998 年開講、2004 年より休講、パンプローナ市）
- 6. ラサル大学（2004 年開講、2006 年より休講、ボゴタ市）
- 7. サンティアゴ・デ・カリ大学（1995 年開講、2006 年より休講、カリ市）
- 8. イセシ大学（1988 年開講、2006 年より休講、カリ市）
- 9. 米州自治大学基金（2005 年開講、2007 年より休講、メデジン市）
- 10. ポリテクニコ・グランコロンビアエーノ大学（2005 年開講、2008 年より休講、ボゴタ市）
- 11. ノルテ大学言語センター（2011 年開講、2013 年閉講、バランキージャ市）
- 12. サン・ブエナVENTURA 大学（2011 年開講、2012 年閉講、カリ市）
- 13. クン技術短期大学ボゴタ校（言語センター）（2012 年開講、トリマ市）
- 14. バジェ大学 パルミラ分校（2016 年、パルミラ市）
- 15. セス大学（2016 年開講、メデジン市）
- 16. ボリバリアナ大学（2016 年開講、2017 年より休講、メデジン市）

学校教育以外

日系人子弟対象

日系人子弟対象の私塾は、コロンビア日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」（1968 年開講、カリ市）の 1 機関。4 歳児から大人まで、日系人のみならずコロンビア人も対象に日本語教育が行われている。同機関はコロンビアの日本語教育機関の中心的な存在として日本語弁論大会や日本語教師研修会を積極的に企画し、日本語教育の普及に尽力している。2017 年 9 月に南部校を開講。

民間語学学校

その他民間の語学学校は 6 機関。

1. 天理クラブ「日本語教室」（1992 年開講、カリ市）
2. NPO 法人コロンビアと日本の絆（1994 年開講、ボゴタ市）
3. 東洋言語学院（2005 年キャンピン校開講、2009 年セドリト校開講、2015 年北校開講、ボゴタ市）
4. アジア言語学院（2007 年開講、2016 年セドリト校開講、ボゴタ市）
5. 日韓クラブ（2012 年開講、ボゴタ市）
6. アトランティコ・コロンビア日系人協会文化部門「会和学校」（2015 年開講、 balan キージャ市）

一般公開講座等

1. ハベリアナ大学ボゴタ校（2005 年再開、ボゴタ市）
2. アンティオキア大学（1998 年開講、メデジン市）
3. バジェ大学（2016 年開講、カリ市）
4. ロスアンデス大学（2013 年開講、ボゴタ市）

3. 教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

2-5-6 制。

小学校前教育 2 年間（日本の幼稚園にあたるもの、早ければ 3 歳または 4 歳から入学可能）、小学校が 5 年間（7 歳から入ると 11 歳まで）、中等教育 6 年間（12～17 歳）の各段階に分けられる。このうち義務教育は、2014 年より、小学校 1 年生～5 年生の 5 年間と 6 年生～11 年生（中等教育）の 6 年間の合計 11 年間である。成績によっては、小学校前教育から留年する場合があります、逆に、優秀な生徒には飛び級制度も認められている。

中等教育終了後は、高等教育（大学）（専門により 5～7 年間）、技術短期大学（2 年間）、職業専門学校（2～3 年間）などに進学する。

教育行政

初等、中等、高等教育機関は教育省の管轄下にある。

言語事情

公用語はスペイン語。

外国語教育

初等教育及び中等教育において、第一外国語として英語の履修が必修となっており、小学校前教育より外国語教育を開始している。

外国語の中での日本語の人気

日本の科学技術、文化、アニメ、マンガへの関心の高まりに伴い、日本語学習者数は増加している。なお、高等教育機関では、2004 年頃より中国語、韓国語講座開講が増加し、中国語、韓国語学習に関心を持つ者が急増したが、2014 年より中国語、韓国語学習者は減少し、日本語学習者が増加傾向にある。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『まるとと 日本のことばと文化』国際交流基金（三修社）

* 一部の機関では独自に日本語教科書を作成し、使用している。

学校教育以外

『みんなの日本語』（前出）

『まるとと』（前出）

* 一部の機関では独自に日本語教科書を作成し、使用している。

IT・視聴覚機材

私立大学等においてコンピュータを使用した学習の導入が開始されているが、民間の日本語教育機関においては、コンピュータで学習するための環境が充分ではないため、ほとんど実施されていない。

5. 教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

一般的に大学では日本語教師養成課程修了の有無に関わらず、学士号のある者を最低条件としている。ロスアンデス大学では修士課程修了を条件としている。最近では現地人日本語教師志望の者に研修を受けさせ、その後日本語教師として採用しているケースが多い。

学校教育以外

各機関によって異なるが、全体的に特に日本語教師としての資格要件は無いようである。最低限必要とされる条件としては、日本語が話せる、日本語についての研修を受けたなどである。

日本語教師養成機関（プログラム）

現地においては日本語教師養成機関やプログラムなどは無い。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本人であれば日本語教師として採用される場合もある。但し、就労ビザが必要である。

教師研修

コロンビア国内においては、コロンビア日系人協会附属「光園」のイニシアティブにより、JICA の助成事業である「日本語教師合同研修会」を年 1 回開催し、JF サンパウロ日本文化センターより日本語上級専門家が派遣され、日本語教授法や、各機関における日本語教育の問題点など、日本語教育に関する意見交換を行っている。

訪日研修については、JF の「日本語教師研修」及び JICA 事業の「日本語教師研修コース」を積極的に活用し、日本語教育技術の向上を目指している。

現職教師研修プログラム（一覧）

特になし

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」が JF のさくらネットワークに認定され、カリ市で開催する日本語教師合同研修会にて他の地域の教師に各国の日本語教育現状など情報を共有している。

2015 年にボゴタにてコロンビア全国日本語教師会・日本語研究会が発足し、日本語教育関係者のネットワークが構築されている。

最新動向

2021 年にロスアンデス大学が新たにさくらネットワークに認定された。

[教師会・学会一覧へ](#)

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8.日本語教育略史

1968 年	ひかり園（現在の日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」）で日本語教育開始
1976 年	日文研協にて日本語教育開始
1987 年	コロンビア国立大学で日本語講座開講
1988 年	イセシ大学（～2006 年）
1989 年	ロス・アンデス大学で日本語教育開始
1990 年	サンタンデル大学にて日本語教育実施（～1999 年）
1992 年	エアフィット大学にて一般向け日本語教育開始（～2021 年） 天理日本語教室にて日本語教育開始
1993 年	クン高等専門学校（現在のクン技術短期大学）にて日本語教育開始

1994 年	バジェ大学にて日本語教育開始 NPO 法人コロンビア日西学院（現在のフンダシオン・コロombo・ハポネサ）にて日本語教育開始 ハベリアナ大学カリ校にて日本語教育開始（～2010 年、2011 再開）
1995 年	サンティアゴ・デ・カリ大学（～2006 年）
1998 年	エクステルナド大学にて日本語教育開始 アンティオキア大学にて一般向け日本語講座も開講 ボリバリアナ大学にて一般向け日本語講座開講（～2013 年） ジャノ大学にて日本語講座実施（～2000 年） パンプローナ大学にて日本語講座実施（～2004 年）
1999 年	イバゲ大学（～2000 年）
2002 年	コロンビア国立大学メデジン校にて日本語教育開始（～2007 年、2011 再開、メデジン市）
2004 年	ロサリオ大学にて日本語教育開始 ラサル大学にて日本語教育実施（～2006 年） 東洋言語学院にて日本語教育開始
2005 年	ポリテクニコ・グランコロンビアーノ大学にて日本語教育開始（～2008 年） ハベリアナ大学ボゴタ校にて日本語教育再開 オクシデンテ自治大学にて日本語教育実施（～2007 年） 米州自治大学基金にて日本語教育実施（～2007 年）
2006 年	日本文化アカデミーにて日本語教育開始 日本語文化センター学院にて日本語教育実施（～2012 年）
2007 年	アンゴラバイリンガルセンターにて日本語教育実施（～2012 年） アジア言語学院にて日本語教育開始
2009 年	12 月 日本語能力試験の実施（ボゴタ）を開始
2010 年	12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2011 年	サン・ブエナベントゥーラ大学にて日本語教育開始（～2012 年） ノルテ大学にて日本語教育実施（～2013 年） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2012 年	日韓クラブにて日本語教育開始

	12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ） カルダス大学にて日本語教育開始（マニサレス市） コロンビア国家警察言語センターにて日本語教育開始（ボゴタ）
2013 年	12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2014 年	3 月 コロンビア全国日本語弁論大会を開始（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2015 年	コロンビア全国日本語教師会・日本語研究会が発足 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2016 年	ポリバリアナ大学にて日本語教育を再開（メデジン） セス大学にて日本語教育を開始（メデジン） バジェ大学パルミラ分校にて日本語教育を開始（パルミラ） 10 月 アジア言語学院セドリト校が開講（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2017 年	9 月 「光園日本語学校南部校」を開講（カリ） 2 月 ボスケ大学にて日本語教育を開始（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2018 年	ロスアンデス大学日本センターにて日本語クラス開校（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2020 年	12 月実施日本語能力試験は新型コロナ感染拡大状況の影響により中止（ボゴタ）
2021 年	日本語能力試験「7 月実施」を「12 月実施」に変更（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2022 年	2 月 メデジン日本文化センター「春のひなた」が開所、日本語教育を開始（メデジン） 7 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（カリ）
2023 年	7 月 日本語能力試験を実施（ボゴタ） 12 月 日本語能力試験を実施（カリ）